

変化に向かう サステナブルな パスウェイを 形作る

サステナビリティおよび
スチュワードシップレポート2022：ファクトブック



アリアンツ・グローバル・インベスターズ (アリアンツGI) は、 アクティブ運用会社であり、 アリアンツ・グループの一員です。

弊社は、世界中の機関や個人に代わって5,060億ユーロの資産¹を運用しており、弊社のお客様、事業および社会の未来を守ることに貢献する、変化に向かうパスウェイ(経路)を形作ることを目標としています。

サステナブル投資の成長と並行して、投資家を始めとするステークホルダーは、投資手法、パフォーマンス、そして、インパクトについてますます、より高い透明性を求めています。弊社は、この道のりを支援することにコミットしています。

このファクトブックは、弊社の「サステナビリティおよびスチュワードシップレポート2022」の内容を抽出したものです。サステナビリティおよびスチュワードシップのアプローチについて、弊社がよくお問い合わせを受ける重要な質問の一部について焦点を当てています。

さらに詳細な情報

「サステナビリティおよびスチュワードシップレポート2022」の全文をご覧くださいと、弊社リーダーからの知見、弊社のアプローチに関する詳細、ならびにサステナブル投資のパフォーマンスに関する情報、アクティブスチュワードシップおよび全社サステナビリティ活動に関する情報など、さらに詳細な情報をお読みいただけます。

弊社のサステナビリティおよびスチュワードシップレポートは、弊社の透明性を高める取り組みの一環であり、英国スチュワードシップコードの要件を満たしています。

5060億ユーロ

世界中の機関および個人に代わって、
5,060億ユーロの資産¹を運用しています。



“

弊社の目標は弊社
のお客様、事業およ
び社会の未来を守る
ことに貢献する、変化
に向けたパスウェイ(経
路)を形作ることです”

皆様のご質問...

01 アリアンツGIにとって、サステナブル投資はどのような意味を持っていますか？
page 04

02 2022年の出来事は、サステナブル投資にどのような影響を与えましたか？
page 07

03 アリアンツGIはサステナブル投資へのアプローチをどのように進化させてきましたか？
page 08

04 投資家に対する透明性を高めるために、御社はどのようにデータを利用していますか？
page 11

05 アクティブスチュワードシップを御社のアプローチにどのように刻み込んでいますか？
page 12

06 投資以外において、御社内ではどのようにサステナビリティ刻み込んでいますか？
page 15

...弊社の回答

01

...アリанツGIにとって、サステナブル投資はどのような意味を持っていますか？

アリанツGIにおいて、私たちはあらゆる場面において、お客様のために価値を生み出す、というシンプルな目標を推進力として活動しています。アクティブかつサステナブルな投資家として、弊社は、顧客資産の成長および保全を支援するために、インクルーシブかつサステナブルな成長を確保しつつ、現実世界の変化にも貢献することを目指しています。

弊社は、アセットオーナーが、サステナブル投資の道のりにおいて様々な段階にあること、そして弊社の役割が、その進捗をパートナーシップとコラボレーションによって促進することであることを理解しています。資本のアクティブな管理者として、弊社は投資先企業の環境・社会・ガバナンス(ESG)、サステナビリティおよび気候プロフィールについて、指示するのではなく、その情報を伝えることを目指しています。

これに注力することによって、道のりの途中にある投資家を、ESGリスクの重視から、(目的が明確なソリューションがネットゼロなどの結果をサポートする)サステナビリティへ、そして、最終的には、意義あるインパクトを生み出すことへと導きます。これが、弊社が、変化に向かうサステナブルなパスウェイ(経路)を形作るということによって意味するものです。

2030年までにESGからサステナビリティへ、さらにインパクトへという弊社の戦略的な移行は、以下の3つの重点分野を指針としています。

- **気候変動**：気候変動の物理的脅威を分析し、最も影響を受けるセクターを特定し、移行のパスウェイ(経路)を設定するために、企業と関わりを持つ。
- **プラネタリーバウンダリー**：気候変動にとどまらずその先を見据え、生物多様性、サーキュラーエコノミー、および土地・水資源の効率的な利用を支援するために、資本をどのように配分できるかを見極める。
- **包括的資本主義**：資源がますます限られていくにつれて、その不平等な分配の脅威が高まるということを認識し、それ故に、社会的一体性を維持し、経済成長を支えることに貢献する社会的要因に重点を置く。



弊社の投資商品群は、様々なレベルのサステナビリティを取り入れた投資ソリューションを取り揃えています。



ESGリスクを重視した 1,170億ユーロ

これらの戦略は、投資ユニバースを制限することなく、重要なESGリスクの考慮を投資分析に取り込んでいます。このカテゴリーには、弊社の統合ESG投資アプローチが含まれています。²



サステナビリティを重視した 1,260億ユーロ

これらの戦略には、具体的なサステナビリティ目標および価値観があり、サステナブルミニマム除外基準が適用されます。このカテゴリーには、ベスト・イン・クラスのサステナブル投資および責任投資（SRI）、アウトカムを伴う気候エンゲージメント、および重要業績評価指標（KPI）に基づく投資アプローチが含まれています。



インパクトを重視した 90億ユーロ

これらの戦略は、再生可能エネルギーや、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に設定された優先事項などの特定の課題に関し、測定できるサステナブルな成果を達成することを目指しています。このカテゴリーには、弊社の民間市場でのインパクトおよびSDGに沿った投資アプローチが含まれています。

² ESGリスクを重視したカテゴリー（統合ESG投資アプローチ）は、EUサステナブルファイナンス開示規則によれば、サステナブルとは考えられていません。

“

サステナブル投資は、特に気候変動の影響が実感されるようになることに伴い、アセットオーナー、投資家、より広範な業界、および社会全体の強靱性にとってますます重要になっています”



02

2022年の出来事は、サステナブル投資に どのような影響を与えましたか？

弊社のサステナブル投資アプローチは、必然的に、変動を続ける世界の情勢に導かれています。2022年には、ウクライナでの戦争によって莫大な人的コストが生じました。地政学的な不安定性の拡大に拍車をかけたことに加え、エネルギーの安全保障、移行および値ごろ感にも、広範囲な影響を及ぼしました。

5,060億ユーロ³

5,060億ユーロ³を公共市場および民間市場における全てのアセットクラスにわたって運用

インフレ率・金利の上昇、サプライチェーン問題、厳しい株式・債券市場も、2022年に顕著な特徴でした。気候変動の影響は、パキスタン、南アジア、マレーシアおよび西アフリカの洪水や、欧州、中国およびアフリカの干ばつによって現実のものとなりました。

これを背景として、弊社は相互に関連する気候危機と生物多様性の問題の重視をさらに強化しました。再生可能エネルギーのテーマは、生物多様性の損失、食料供給、水不足および不平等と関連しているため、依然として弊社の気候変動および包括的資本主義というテーマの中核をなしています。

サステナブル投資戦略への関心が高まるのに伴い、個人投資家および機関投資家が投資プロセスの中でサステナリビリティを重視した検討を模索する傾向が見られました。このようなアウトカム指向のソリューションに対する要求が、データおよび洞察への需要を高めています。

弊社は、市場のボラティリティは2023年も継続し、課題と機会の両方をもたらすと予想しています。弊社は、引き続き顧客ニーズの多様化への対応と、投資を通じたサステナブルな成長の加速を重視します。

5

5つの新規サステナブルファンドを2022年に立ち上げ⁴

現在進行中の一連のテーマ別リサーチペーパーを通し、弊社は、それぞれのテーマへの投資に関する弊社の専門家の考察をお伝えし、お客様のためのガイドとすることを目指しています。

177

177のサステナブル商品を2022年末時点で提供

31

31のミューチュアルファンドがサステナブル投資アプローチに転換

3 2022年12月31日現在のデータ

4 これらの数字は、サステナブルファイナンス開示規則の第8条および第9条のいずれかに分類されるEUを本拠とするファンドに関連するものです。

03

2022年の出来事は、サステナブル投資に どのような影響を与えましたか？

2021年が舞台を設定した年だとすれば、2022年は、弊社の道のりをサポートするための、気運の醸成およびデータアーキテクチャ開発の年だったと言えるでしょう。

弊社のリサーチ能力はセクター、テーマ別リサーチおよび企業のリサーチを中心として構築されています。弊社は、様々な業界セクターがどのように複数のサステナビリティファクターからスクリーニングを行っているかを示す、セクターの枠組みを強化しました。各セクターの枠組みには、弊社の独自のサステナビリティ・マテリアリティ・マトリックスを取り入れています。これによって、弊社独自の格付システムの主要な要素を構成する、16の最も重要なサステナビリティサブファクターを特定しています。

4つのサステナビリティファクター	16のサブファクター
環境	気候変動 天然資源 汚染／廃棄物管理 バリューチェーン全体のグリーンな機会
社会	安全衛生 労働条件および環境 人的資本管理／開発 労働関係
コーポレートガバナンス	コーポレート／サステナビリティリーダーシップおよび開示 内部統制 幹部報酬 株主
事業行動	事業倫理 顧客 サプライヤー 地域社会
出所：アリアンツGIのサステナビリティマテリアリティマトリックス	

また、弊社は、投資意思決定のために追加の視点を提供するため、絶対的・相対的企業ESGスコアを開発しました。さらに、詳細な企業分析の解説によって、これらを補完しました。現在は、弊社の包括的資本主義のテーマにおける重要なトピックである人権もその中に含まれています。

気候データの捕捉を強化するために、弊社は脱炭素化へのパスウェイ(経路)およびネットゼロの達成の支援を目的とするデータモニタリングへの投資を行いました。また、弊社の気候変動KPIの取り組みに沿ったプラネタリーバウンダリーおよびインクルーシブキャピタルのテーマにおいて使用される、重要業績評価指標(KPI)を拡張しました。

2023年の焦点

今後に目を向けると、2023年には、主要なサステナビリティテーマのリスクと機会についてお客様に指針を示すことを含め、弊社の信念に基づくアプローチの実行がさらに進むでしょう。弊社は、現実世界へのインパクトの拡大を追求するためにソリューションの拡張性を高め、全員参加の全社サステナビリティトレーニングなどを通し、引き続き全社的な知識および能力を強化してまいります。

“

弊社は、ESGのさらに先へと進み、サステナビリティについて包括的に、投資ポートフォリオ全体を通して考えます。弊社の目標は、弊社の投資による現実世界へのインパクトを示すことです”



“

ESGデータは、サステナビリティの情報に基づくあらゆる投資意思決定の基盤です。これは、リターンを損なうことなく、財務的なアルファにサステナブルな影響をプラスして提供するという、弊社の目標の基本となっています”

04

投資家に対する透明性を高めるために、 御社はどのようにデータを利用していますか？

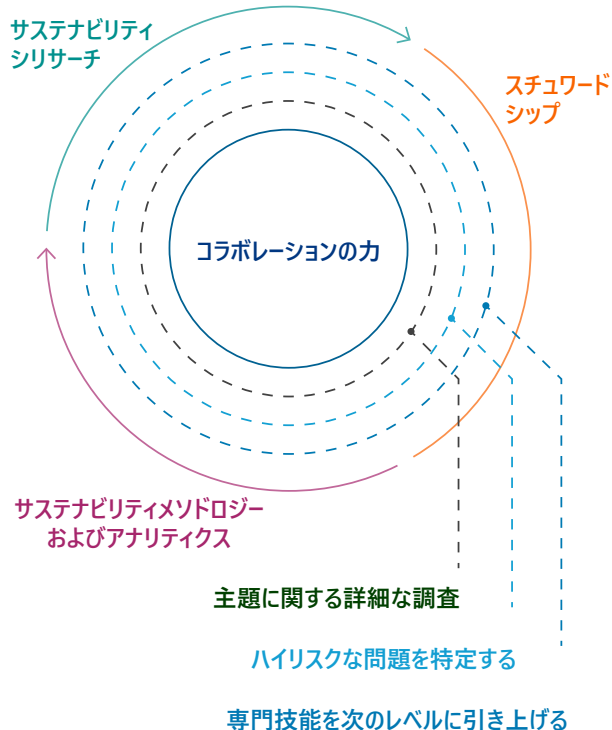
堅実なデータの提供は、ポートフォリオ内でサステナビリティと財務的なアルファを結びつける能力に欠かせないものです。弊社のアプローチは、独自のベスト・イン・クラスモデルおよび詳細なリサーチの上に構築されています。アクティブスチュワードシップとESGリスク評価によって、弊社のポートフォリオマネージャーは、ESGスコア、および二酸化炭素排出量、水利用などの主要な悪影響について、十分な透明性を確保することができます。

100+

弊社のインサイトエンジンSusIEを通して100超のサステナビリティアナリティクスを利用可能

弊社の長期戦略は、独自のリサーチを投資意思決定の主要な原動力として使用するものです。新たな人口知能(AI)テクノロジーとデータリソースを利用して、企業行動に関連するスマートアナリティクスとリアルタイムの徴候を拡大します。

コラボレーションをリサーチアプローチの中心に据える



10,000+

独自のサステナビリティメソッドロジーによって10,000超の企業を格付

2022年に導入した、新しいサステナビリティインサイトエンジンツール(SusIE)は、最先端のテクノロジーを活用して、弊社の全ての投資エキスパート、商品スペシャリスト、リスク管理、その他のステークホルダーのためにESGデータへのアクセスを円滑化します。このツールは、クラウドデータストレージを使用して、10社以上のサードパーティベンダーから入手したデータを標準化されたデータセットに変換します。SusIEは、より定量的なESGスコアリングとサステナビリティインプットに向かう流れにおいて、全てのアセットクラスにわたるサステナビリティに関するアクティブ投資意思決定の重要な成功要因です。

178

独自のサステナビリティメソッドロジーによって178の国々を格付

250

世界中の企業を対象に250件のサステナビリティ分析を実施

05

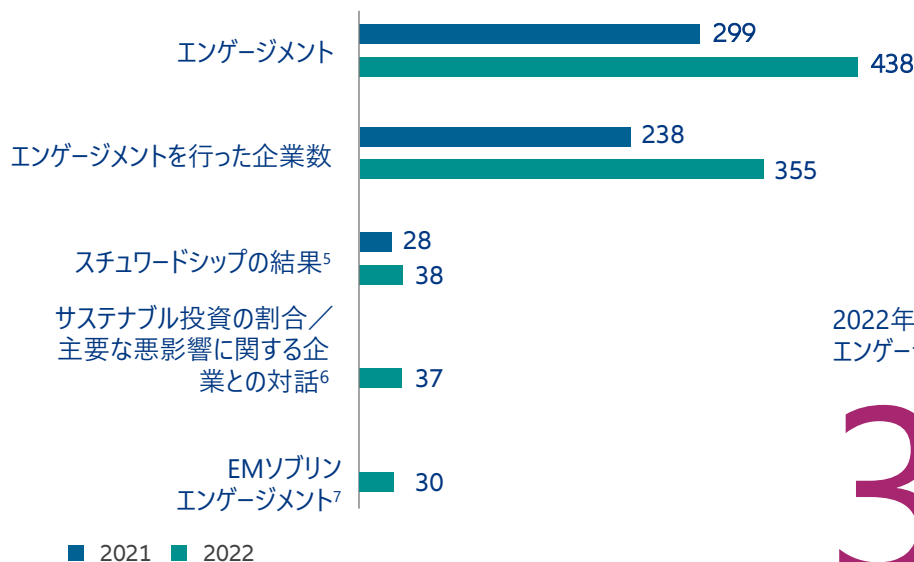
アクティブスチュワードシップを御社の アプローチにどのように刻み込んでいますか？

弊社は、アクティブ運用会社として、投資先企業との建設的なエンゲージメントダイアログを、変化に向かうサステナブルなパスウェイ(経路)を作るために不可欠な要素と捉えています。

弊社のアクティブスチュワードシップに対するグローバルなアプローチには、弊社が議決権を行使する権限を持つ全ての投資先企業の株主総会で投票を行うという弊社の目標を支える、詳細な代理投票ポリシーを取り入れています。

2022年に、弊社は、3つの重点分野(ページ4を参照)に加えガバナンスに沿ったテーマ別かつ協力によるエンゲージメントアプローチの改善を継続し、気候エンゲージメントを広げるために、対象とする高排出量のセクターを追加しました。

2022年のスチュワードシップ活動の大幅な拡大



5 一部のエンゲージメント活動は複数年にわたる。

6 エンゲージメントは規制要件に従い2022年に開始。

7 2021年は報告なし。



アリアンツGIにおけるアクティブスチュワードシップは、投資先企業の未来に影響を与えることを意味します。弊社は、強固なエンゲージメントプロセスによってこれを実施します。これは、企業が直面するいくつかの最も重要な長期的課題に取り組むために、弊社の代理投票戦略を補完するものです”

弊社は、規制要件に沿った企業とのやりとりに、データ明確化の要請も追加しました。これは、EUサステナビリティ規則の文脈における、サステナブル投資の割合⁸および主要な悪影響 (Principal Adverse Impact) / 重大な害をもたらさないこと (Do No Significant Harm) ⁹に関する対話で構成されています。また、「セイ・オン・クライメット (Say on Climate)」、取締役会における民族多様性、およびサステナビリティ関連報酬を向上させるため、弊社の投票アプローチも改善しました。

代理投票については、取締役の選任、幹部報酬、資本関係の権限および社外監査役の任命に重点を置きました。その他の投票のテーマとして含まれていたのは、気候変動、労働力の多様性、政治献金およびロビー活動などです。

2022年のハイライト



10,200

2022年中、10,200の株主総会に出席



94%

全ての投票可能な株主総会の94%で代理を務める



22%

全ての経営に関する決議のうち22%に反対



69%

69%の会議で、少なくとも1つの議題に反対票を投じるか、保留または棄権した

8 EUサステナブルファイナンス開示規則に従いサステナブルと見なされるファンドの割合

9 主要な悪影響 (Principal Adverse Impacts) は、市場参加者が、サステナビリティファクターに悪影響を及ぼす投資意思決定の影響を考慮することを求める。EUサステナブルファイナンス開示規則の一部である。重大な害をもたらさないこと (Do No Significant Harm) は、ファンドが宣言する環境および／または社会的目標に関連して、EUサステナブルファイナンス開示規則第8条および第9条のカテゴリーに基づき分類されるファンドに適用される。



“

弊社の経営陣および従業員
は、高い倫理基準に従うこと
にコミットしています”

06

投資以外において、 御社内ではどのように サステナビリティを組み込んでいますか？

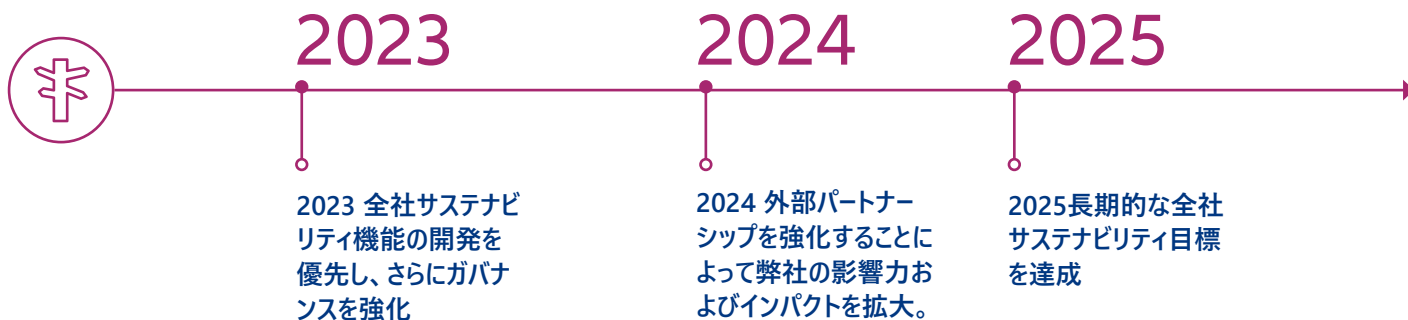
弊社は、グローバル事業のサステナブルな成長の原動力として、企業サステナビリティの重要性を高めています。

2022年、包括的なアプローチを加速し、戦略の方向性を定め、執行委員会(ExCo)および事業部門に助言を提供することを目的として、コーポレートサステナビリティオフィサー(CSO)の役職を設置しました。事業部門は、CSOおよび現地のサステナビリティ・リードの協力を受け、サステナビリティ関連の実務を実行する責任を担います。弊社の経営陣および従業員は、高い倫理基準に従うことにコミットしており、コンプライアンスは弊社の責任あるアプローチの基本となっています。



弊社は、顧客資産のサステナブルな、長期的成長を支援するために、組織およびプロセス全体にわたって監視を行い、デューデリジェンスを実施します”

弊社の3年間のサステナビリティ・ロードマップは、長期的目標の達成を可能にする強固な基盤を構築することから始まります。



06

投資以外において、御社内ではどのようにサステナビリティを組み込んでいますか？

サステナビリティコミットメントを実践 – 2022ハイライト

弊社は、長期全社サステナビリティ目標に対する進捗を毎年報告します。

以下は、2022年のハイライトの一部です。



弊社は、人、パフォーマンスおよびお客様を大切にす労働環境を育み、ダイバーシティ、エクイティおよびインクルージョンに対して強い姿勢で臨みます。

50%

2020年以来、執行委員会の50%が女性

32%

2022年において女性マネージャーが32%

66

66ヶ国に及ぶ弊社の従業員



弊社は従業員の健康とウェルビーイングを大切に、従業員がサステナブルなパスウェイ（経路）を形作る上で役立つスキルおよび知識を身につけることをサポートします。

2.7百万

2.7百万ユーロ超を従業員育成に投資

83%

従業員アンケートの質問「弊社はフレキシブルな働き方の機会を提供している」に対し、83%の好意的なスコア

10 マネージャーが少なくとも一人の直属の部下を有する、第一レベルのリーダーシップを指す。



弊社の営業免許は、お客様、従業員などが弊社のパフォーマンスおよび完全性に対して寄せる信頼の上に成り立っています。

100%

100%の従業員が、マネーロンダリング防止、不正防止および経済制裁を網羅するグローバルコンプライアンストレーニングに参加。



弊社は、プラスの社会的影響を与え、国連SDGsの達成に貢献することにコミットしています。

700以上

2022年、会社全体で、700時間超のボランティア活動時間を記録

2023年の焦点: SDG 8「働きがいも経済成長も」、SDG 13「気候変動に具体的な対策を」およびSDG 17「パートナーシップで目標を達成しよう」に焦点を当てた、2023年に展開予定の新たなコーポレートシチズンシッププログラム



弊社は、気候変動および環境インパクトに関する弊社独自の目標を達成する、ロールモデルになることを目指しています。

59%

2022年の温室効果ガス排出量を、2019年を基準として59%削減

100%

アリアンツGIがオフィスおよびローカルデータセンターで使用する電力の100%が再生可能な低炭素の発電源に由来

60%

従業員1人当たりの旅行による排出量を、2019年の基準排出量に対して60%削減

45%

従業員1人当たりの廃棄物発生量を、2019年を基準として45%削減

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズまたはグループ会社（以下、当社）が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり、特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社の見解または信頼できると判断した情報に基づくものであり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容・見解は、特に記載のない場合は本資料作成時点のものであり、既に変更されている場合があり、また、予告なく変更される場合があります。
- 投資にはリスクが伴います。投資対象資産の価格変動等により投資元本を割り込む場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させていただきますが、対象とする金融商品及び金融派生商品(デリバティブ取引等)は、金利、通貨の価格、発行体の業績・財務状況等の変動、経済・政治情勢の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号
一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
一般社団法人投資信託協会に加入
一般社団法人第二種金融商品取引業協会に加入



Allianz Global Investors

Sustainability and Impact Team
3 Boulevard des Italiens
75002 Paris
France